

はらむら



議会だより

第105号

平成23年5月10日発行

発行／長野県諏訪郡

原村議会

編集／議会広報編集委員会

TEL 0266-79-2111

FAX 0266-79-7951

☎ 391-0192



阿久遺跡の間伐と木彫り

23年度予算を審議

■平成23年■
1月
定例会

- 3月定例会 2
- 委員会報告 4
- 第1回臨時会 6
- 一般質問 7
- 議長退任挨拶（16期） 12
- 組合議会等報告 13
- 議会日誌 14

3月定例会

平成23年第1回定例会は3月1日から17日まで、17日間開催された。

「平成23年度一般会計予算」など村長提出議案22件と議員提出議案2件を審議した。委員会での審査の内容は委員長報告のとおりです。

◎平成23年度一般会計予算

(内容) 歳入歳出予算の総額を、それぞれ37億円とするもの。(前年度当初予算額比25%増)

などである。

☆反対討論

・ 役場職員体制が不十分(臨時職員増)である。地域包括支援センターを「さくらの」に委託せざるを得なかった。

主な新規事業としては、中学校大規模改修工事費等に7千420万円。子宮頸がん予防・小児肺炎球菌及びヒブワクチン接種補助に1千903万円。新規就農後継者育成支援事業に120万円。戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業(水路・湧水工事)に3千860万円。地域包括支援センターの「さくらの」への委託費401万円。観光案内所開設(たてしな自由農園原村店内)に210万円。八ヶ岳美術館ブロンズ铸造委託費に901万円、

☆賛成討論

・ 農道整備事業において、前年度予算書及び関係区長への説明では標準断面厚は68cmであった。しかし、実施工事は36cmであり、当初計画と違って、県の予算がなければ村単独事業で行うべきである。

・ 役場職員の英知を結集して、行政を行うべきである。

・ 教育に力を入れ、中学校校舎の改修が事業化されている。全体として、行政と村民が共同して村づくりをする姿勢を評価する。

・ 縦の木荘の指定管理者には、もう少し自由裁量権を持たせるべき。

・ 東日本大震災の影響で、縦の木荘への来客数は大幅にダウンすることが予測される。

・ 縦の木荘が経営的に生き残れる様、新規送迎バスの村よりの無償貸与を要望する。

☆その他

・ 八ヶ岳美術館ブロンズ铸造委託費は、予算計上の説得力がない。

◎学童クラブ設置条例

(内容) 原小学校敷地内に設ける。(原村商工会隣地より移転)

保護者の費用負担は、登校日は月額3千円。ただし、8月、3月および16日以降に入所した月は、月額1千500円とする。学

校休業日は1日60円とするもの。

☆賛成討論

・ 諏訪地域で先進的に進めてきた事業である。小学校敷地内建設により、より安全になった。

◎地下水採取について

(内容) 水道事業において、新たな深井戸を掘削するもの。場所は藤尾根湖南東地点で、井戸口径30cm、掘削深度280m。

◎平成22年度一般会計補正予算(第8号)

(内容) 東北地方太平洋沖地震義援金に100万円、長野県北部地震栄村義援金に50万円を計上するもの。

意見書提出

◎東日本大震災の救援、復興を優先するため「統一地方選挙」の期日を全国的に延期することを求める意見書

提出者 議会運営委員長 木下 貞彦

宛先 内閣総理大臣他

◎一級河川「阿久川」に恒久的な護岸化を求める意見書

提出者 木下 貞彦 五味 武雄 宛先 長野県知事他

固定資産評価審査委員会
委員になられました

小林 五郎さん(室内)

任期 平成23年4月1日から

平成26年3月31日まで

委員会報告

総務産業常任委員会

委員長 菊池敏郎

予算中心の3月議会であったが、条例など村民生活に直結することを審議した。

◎選挙管理委員会等の要請に

より出席した人に対する費用弁償を定める条例

これは、法律で交通費などの支払いが義務付けられているものであり、対象を明確にしたもの。

◎中小企業振興資金斡旋に関する条例

今まで取扱金融機関を2支店に限定していたものを、八十二銀行と諏訪信用金庫ならどこでも扱えるようにするものである。昨年末行った村内企業のアンケートで希望されていたものである。

◎22年度一般会計補正予算

基金(貯金)利子の配分と事業整理的な内容が主

であった。

ふるさと寄付金は、3年間延べで63人の方から受けている。村内14人、県内9人、県外40人である。

昨年7月の豪雨災害の復旧に関し、補助事業が減り、村単独事業になるなど変更があった。

県営農道事業(柏木地区等) 中山間総合事業(中新田地区農道)は、事業費が大幅に減額となり約半分となった。しかし、工事距離を伸ばすために碎石の厚さを半分にしたため、凍み上がりによる痛みがあると村民から連絡があった。現場を確認したところ、完成してごく短時間にもかかわらずうねったり亀裂が入ったりしていた。

23年度も同じ事業があり、県が碎石厚を変更しない場合は、村の上乗せが必

要であるとの指摘に、村長は、県には要望するが上乗せは、約束できないと答弁した。

また、文化園のプラネタリウムの投影機の入替えは、スクリーン周辺の画像投影機をプロジェクターに変更し動画も投影できるものと説明された。

◎23年度一般会計予算

職員数の削減と予算や事業の増額について議論した。

特に、職員89人(企業会計等を除く)に対し、短時間の方を含め臨時職員78人は異常だと指摘があった。国からの圧力があつたといえ、住民生活に直結する部分での削減の実態も明らかにされた。

住民要望の強かった公共交通の運行実績では、もみの湯の利用者が多いと報告された。

県森林税による事業では、民有林や区有林の間伐を計画しており、補助額は、1ha当り60万円を見込んでいる。「たてしな自由農園」内に

設置予定の観光案内所は、細かいことは今後決められるが、賃借料は無料とのことである。無料については、異論も出された。

550万円のふるさと雇用関連事業では、文化園の「体験型旅行商品の開発と野菜のブランド化」を目的に行うと説明された。体験学習等は、観光事業者の努力により開発してきたものであり、どのくらい成果が上がったかは疑問であると意見が出された。野菜のブランド化というが、今年度実績は、予算にふさわしいかとの指摘があった。

農業後継者育成補助金は評価できるが、研修期間等基準がわかりにくい。意欲ある後継者を育てることを主眼に取り組んでほしいと要望された。

パイプハウス補助の増額補助施策について、農家にわかりやすく知らせるべきであると意見があった。

農地流動化補助金(農地の借り手に、反当り3千円)は、国の施策も関係

しさらに増え、耕作面積の8%相当に増える予想と説明された。

縦の木荘のマイクロバスは、村がリース契約し、同額で縦の木荘に貸し付けることに異論が出された。村長の約束というが、マイクロバスは、縦の木荘の備品の性格を持つから有償は理解できないと意見が出された。また、購入した方が、安く上がるのではとの指摘もあった。

今回の「東日本大震災」で景気悪化など村民生活の困難も予想される。不急事業は縮小し、慎重な運営を求める意見があった。

◎有線放送事業会計予算

今年度より、ケーブル使用料140万円余支払うこととなった。

ケーブルテレビ未加入でも有線放送加入できると説明された。

◎農業者労災事業会計予算

加入者減が予想されるが、重大事故がなければ運営できると説明された。

社会文教常任委員会

委員長 小平 雅彦

学童クラブ設置条例、地下水採取（新水源掘削のため）、23年度一般会計予算等議案13件を審査した。
また、新築中の特養「さくらの」等の状況について事務調査を行った。

診療施設勘定特別会計予算
電子カルテシステムの導入、超音波検査装置の導入は、診療の適正化、効率化につながる。との意見があった。

◎学童クラブ設置条例

・学童クラブの管理等に必要な事項を定めるもの。
☆学校休業日の1日当たり保育料が100円から600円に値下げされ、定員も50人から70人に拡大されたことは、評価できる。との意見があった。

◎23年度水道事業会計予算

・配水管布設換工事、鉛管取替工事を計画的に進めるとの説明があった。
☆水道加入、検針、料金等の動向について議論された。

◎23年度下水道事業会計予算

・管路の点検、調査の状況、補修、料金改定、流域下水道の動向等について議論された。

◎22年度一般会計補正予算

・介護老人福祉施設（さくら）に対する補助。図書館照明整備（LED

化）費等の増額。
☆降雪及び凍結時の除雪、融雪剤散布等迅速、適切な対応は評価できる。
☆中学校彫刻の森の整備を計画的に進める必要がある。等の意見、要望があった。

◎23年度一般会計予算

・地域包括支援センター事業の介護施設「さくら」へ委託。中学校教室棟大規模改修工事。美術館ブロンズ鑄造委託。ふれあい保育の拡大。自閉症、発達障害児童等、対策の充実。不法投棄防止対策事業が進められる。
☆地域包括支援センター事業の委託にもなう影響等について議論され、「さくら」への委託に当たっては、村民への周知徹底を要望した。

☆中学校改修に当たっては、管理、監督業務を適切に実施する必要がある。
☆阿久遺跡の環境整備、用地取得、史跡指定等計画的に推進する必要がある。
☆保育所職員体制は臨時職員が多く改善が必要である。

☆中学校改修に当たっては、植栽により景観に配慮した管理を要望したい。
◎特別養護老人ホーム「さくらの」
☆鉄筋2階建。入所定員29名、個室（ユニット型）。原村への入所割当ては6床、介護者増加傾向の中で安心につながる。

事務調査報告

◎新水源掘削予定地（藤尾根湖南東約100m）。

☆工事に合わせて第4水源から第3水源への供給も可能となるもので、ライフラインの安定につながる。

◎村道ペンション線立木間伐状況。

☆立木間伐で、凍結時の交通の安全確保につながる。今後はレンジつつじ等の

(5) 第105号 はらむら議会だより

◎23年度国民健康保険直営

◎地下水採取について
・新水源を掘削するもの。
☆掘削、給水、水質等について議論され、他の深井戸との競合等影響調査を充分行う必要がある。との指摘が出された。

☆不法投棄防止対策は、通過車両、村民への啓発の徹底を図る必要がある。

第1回臨時議会

平成23年第1回臨時議会は1月21日に開催された。村長提出議案6件を審議した。

して、3千670万円。

八ヶ岳美術館屋外トイレ等の改修工事費として、900万円。などである。

◎水道事業会計補正予算(第1号)

(専決処分の承認)

(内容) 第3水源(ペンション線沿い)の取水ポンプの故障による入替。費用は233万円。

◎縦の木荘・もみの湯など4施設の指定管理者の指定

(内容) 縦の木荘などの4施設の指定管理者に、現行の(有)縦の木を指定するもの。(指定期間は5年間)

◎一般会計補正予算(第6号)

(内容) 国の経済対策交付金の決定などに伴い、補正予算として6千977万円を追加計上するもの。

歳出の主なものは、県営かんがい排水事業(一之瀬せき改修)負担金として、875万円。

八ヶ岳自然文化園のプラネタリウム機器の入替及び番組使用料として、593万円。

中学校図書館等の改修工事及び監理業務費と

☆反対討論

・議案提出に当って、選定委員会の検討内容及び選定のプロセスが不明確である。

・総務省の通達『指定管理者制度の運用について』(平成22年12月28日付)に基づき、公の施設の指定管理に対する真剣な対応をしていない。

☆賛成討論

・村の福祉に寄与すべき施設であり、本来は直営

ではないか。現在の施設運営について、営業状況が分らない点もあり、住民と話し合うべきである。

・住民から言われた事を素直に聞いて、改善に結びつけるべきである。

・縦の木荘の経営は、まずまずであった。しかし、接客サービスは不十分である。

今後、新しい気持ちで対応して欲しい。

・村がもっと運営に係るべきである。

栄村の支援に出かけて

菊池敏郎

県北部地震で被災された栄村に行ってきました。入ったとたん、がけ崩れが目に入り、テレビ放映された飯山線の宙すり現場周辺の住宅は、傾いたり、倒壊するなど目を覆うような状況です。

避難所は、役場がすべて掌握しており、主食は、村と社協で準備していました。

原村議会として義援金を送りました。

東日本大震災に20万円
 県北部地震(栄村)に10万円
 被災された皆様に
 心よりお見舞い申し上げます。

ボランティアは、「結」と呼ばれる支援組織が、整然と活動していました。

原村から3名と上伊那地方から8名でトン汁を作りました。おにぎり、冷たいだけに感謝されました。

支援物資もボランティアも、必要とされることに応えることが大切だと感じました。

平成23年第1回臨時議会 審議結果

表記：○は賛成、×は反対、▽は退席、-は欠席

議案等 番号	議案名等	矢島 昌彦	菊池 敏郎	小平 雅彦	小池 啓男	日達 徳吉	木下 貞彦	小林庄 三郎	小池 利治	長谷川 寛	五味 武雄	審議 結果
《村長提出》												
承認第1号	平成22年度水道事業会計補正予算(第1号)〈専決処分の承認〉	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第1号	平成22年度一般会計補正予算(第6号)	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第2号	レストハウス縦の木荘の指定管理者の指定	○	○	-	×	○	○	○	○	○	○	可決
議案第3号	ふれあいセンターの指定管理者の指定	○	○	-	×	○	○	○	○	○	○	可決
議案第4号	観光体育施設の指定管理者の指定	○	○	-	×	○	○	○	○	○	○	可決
議案第5号	中央高原屋内ゲートボール場の指定管理者の指定	○	○	-	×	○	○	○	○	○	○	可決

一般質問 村政を問う

職員数減少で 行政サービス低下は

小林 庄三郎

適正な定員管理を行う



〔質問〕原村の人口は増加しているが、職員数は減少している。住民への行政サービスに低下や支障はないか。
〔村長〕6年前に策定した

行財政改革プログラムでは、15年間で2割程度の職員の削減計画である。全職員と面談を行い意見も聞いていく。プログラムの見直しも現在行っている。
当時との状況の変化もあり適正な定員管理を行っていく必要がある。

〔質問〕村の広報において有線放送の占める役割は大きい。
原山地区の加入者が少ないと聞く。緊急のこともあり、周知には区や有線加入が必要と考えるがどうか。

〔村長〕原村に転入した方に、役場窓口で加入を促している。災害等有事の際には、速報性の高い有線放送が一番有効である。また、国から衛星を使って発せられる緊急放送も有線を使っ



て流すので、加入を促している。

〔質問〕道路管理で、農道と村道の窓口が分かれている。一本化は出来ないか。
〔村長〕補助の関係もあり、一朝一夕には一本化できない。

〔その他の質問事項〕
○男女共同参画
○障害者の雇用について



23年度湧水処理事業は4地区だけか

小池 利治

今後取り組む時は全村に 呼びかけて希望を取る

〔質問〕23年度予算に戦略作物生産拡大関連盤緊急整備事業ということで圃場の整備に大きな予算がついた。事業箇所は水路10箇所、湧水処理4地区。この湧水処理地区に入っていない地区が多い。どのように取りまとめたのか。

〔村長〕21年度農地有効利用ということで、区長に募集してもらったが4地区しか出てこなかった。今後取り組むときは全村にきちんと呼びかけてもれないように希望を挙げてもらう。

〔質問〕23年度予算に戦略作物生産拡大関連盤緊急整備事業ということで圃場の整備に大きな予算がついた。事業箇所は水路10箇所、湧水処理4地区。この湧水処理地区に入っていない地区が多い。どのように取りまとめたのか。

〔村長〕研究をしている。
〔質問〕原村からの八ヶ岳登山口といえば船山十字路口連休のときは県外車でいっぱい。道路脇に車を止めているが、駐車場のスペースを作ったらどうか。
〔村長〕駐車場の整備は考えていない。

〔質問〕今、全国各地で取り組まれ、最も経済効果が大きい地域活性化の起爆剤といわれているのが住宅リフォーム助成制度である。村内の業者を対象にし、村内の税金を村内で循環させ

〔質問〕次期村長選挙について、まだやれという声が多ければ考えなければいけないとも言われたが、前の選挙時に今期限りと言ったことはどうなったか
〔村長〕4年前の会議録を見ても、3期限りというふうなことは見あたらない。